

# 学生各位

法学部の今年度前期試験は、下記期間に、「教場試験」及び「定期試験」として実施します。

**7月16日（火）～7月29日（月）**

詳細は、別紙「教場試験・定期試験時間割」及び「試験方法」で確認してください。

受験にあたっては、「法学部学期末試験受験者心得」を熟読の上、受験してください。

教場試験期間（7月16日（火）～7月22日（月））は、定期試験の準備に向けた自学・復習・質問のための一斉オフィスアワー期間とし、法学部の「講義科目」については原則として授業は行いません（基幹教育科目は対象外です）。

演習（ゼミ）等については、担当教員の指示に従ってください。

なお、7月30日（火）～8月5日（月）の補習授業期間に追試を行うこともあります。

なお、下記については教場試験期間及び補習期間内に授業を行います。（今後変更の可能性もあるので掲示に注意すること）

- 民事判決読解特殊講義Ⅰ : 7月17日（水）2限（D-106）
- ワークルールとキャリアデザイン : 7月17日（水）2限（D-105）
- 政治学原論 : 7月17日（水）3限（大講義室Ⅰ）
- 比較政治学Ⅱ : 7月18日（木）3限（D-106）
- 刑法Ⅰ（刑法総論） : 7月18日（木）4限（大講義室Ⅱ）
- 行政法Ⅱ（行政救済法） : 7月18日（木）4限（D-105）
- 政治学Ⅰ : 7月22日（月）2限（E-112）

令和6年6月25日  
学務課（法学部担当）

## 令和6年度前期法学部専攻教育科目 教場試験・定期試験時間割

※時間割・教室の変更等は法学部HPIにてお知らせしますので、法学部HPIに注意してください。

※受験に際しては、「学生便覧」に記載されている学期末試験に関する記述、および「受験者心得」を熟読の上、受験してください。

※他学部・科目の試験は、当該学部の指示にしたがってください。

### 教場試験時間割

月日	曜日	科目名 教員名 試験室	1	2	3	4	5
			8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20	16:40~18:10
7月16日	火	科目名 教員名 試験室		国際公法 明石 欽司 大講義室 I 刑事訴訟法 豊崎 七絵 D-105	民法Ⅲ(債権総論・担保物権法) 田中 教雄 D-105		
7月17日	水	科目名 教員名 試験室		【授業】民事判決読解特殊講義 I 寺本 振透 D-106 【授業】ワークルールとキャリアデザイン 山下 昇 D-105 地方自治法 田中(孝) E-110	【授業】政治学原論 蓮見 二郎 大講義室 I		
7月18日	木	科目名 教員名 試験室		知的財産法 小島 立 E-110	【授業】比較政治学Ⅱ 出水 薫 D-106 民事訴訟法 I 上田 竹志 大講義室 I	【授業】刑法I(刑法総論) 富川 雅満 大講義室Ⅱ 【授業】行政法Ⅱ(行政救済法) 鈴木 崇弘 D-105	
7月19日	金	科目名 教員名 試験室		刑事政策 武内 謙治 D-105 法史学基礎 五十君ほか 大講義室 I	商法 I(会社法①) 笠原 武朗 D-103 ローマ法Ⅱ 五十君 麻里子 D-221		
7月20日	土						
7月21日	日						
7月22日	月	科目名 教員名 試験室		【授業】政治学 I 出水 薫 E-112 中国法 西 英昭 D-105	憲法 I 赤坂 幸一 大講義室 I 法哲学(法理学) 福原 明雄 D-105		

### 定期試験時間割

月日	曜日	科目名 教員名 試験室	1	2	3	4	5
			8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20	16:40~18:10
7月23日	火	科目名 教員名 試験室		労働法 新屋敷 恵美子 D-105		政治学史 I 木村 俊道 E-110	
7月24日	水	科目名 教員名 試験室			政治学原論 蓮見 二郎 大講義室 I		
7月25日	木	科目名 教員名 試験室		外交史 中島 琢磨 大講義室 I		刑法I(刑法総論) 富川 雅満 大講義室Ⅱ	
7月26日	金	科目名 教員名 試験室	法と経済学 川崎 邦宏 D-105		民法 I 香山 高広 大講義室 I		
7月27日	土						
7月28日	日						
7月29日	月	科目名 教員名 試験室		ローマ法I(ローマ法史) 五十君 麻里子 オンライン	行政法Ⅱ(行政救済法) 鈴木 崇弘 D-105		

試験期間中講義実施

※基幹教育科目の定期試験期間と法学部定期試験期間が異なるため注意すること。

#### ◆補習授業を実施する科目(7/30(火)~8/5(月):法学部補習授業期間、基幹教育科目定期試験期間)

7月30日(火)      7月31日(水)      8月1日(木)      8月2日(金)      8月5日(月)

--	--	--	--	--

## 令和6年度前期 試験方法（法学部専攻教育科目）

今学期の授業科目の試験は、下記のとおり実施します。

※レポート評価科目は別途掲示

授業科目	担当教員	査定方法	備考（持込物等）
ローマ法Ⅰ・ローマ法史	五十君麻里子	オンライン	詳細は授業中に説明する
ローマ法Ⅱ	五十君麻里子	ディスカッション	詳細は授業中に説明する
法史学基礎・法史学入門	五十君ほか	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 持ち込みを一切許さない。
知的財産法	小島 立	筆記試験	書き込みのない六法(判例付き可)の持ち込みを許し、書き込みがある場合は不正行為とする。 六法以外の持ち込みについて、持ち込みを一切許さない。
民法Ⅰ(民法総論)	香山高広	筆記試験	試験時間は60分間とする。 六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 六法以外の持ち込みについて、持ち込みを一切許さない。
行政法Ⅱ(行政救済論)	鈴木崇弘	筆記試験	書き込みの有無を問わず、六法の持ち込みを認める 六法以外の持ち込みについて、下記のものに限り、持ち込みを許す。 教科書等(電子機器類を除く)。
地方自治法	田中孝男	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 六法以外の持ち込みについて、下記のものに限り、持ち込みを許す。 『地方自治ポケット六法』(書き込み可、付箋一貼り付けてあるものに限る一可)
国際公法	明石欽司	筆記試験	条約集のみ持ち込み可
商法Ⅰ(会社法①)	笠原武朗	筆記試験	書き込みのない六法(判例付き不可)の持ち込みを許し、書き込みがある場合は不正行為とする。 六法以外の持ち込みについて、持ち込みを一切許さない。
労働法	新屋敷恵美子	筆記試験	書き込みの有無を問わず、六法の持ち込みを認める。ただし、判例付きのものは不可。 六法以外の持ち込みについて、下記のものに限り、持ち込みを許す。 配付資料(コピー不可) 配布資料については、講義中に配布している判例集のみ。
憲法Ⅰ(統治機構論)	赤坂幸一	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文を試験問題用紙の中で掲げる 六法以外の持ち込みについて持ち込みを一切許さない
民事訴訟法Ⅰ	上田竹志	筆記試験	書き込みのない六法(判例付き不可)の持ち込みを許し、書き込みがある場合は不正行為とする。 六法以外の持ち込みについて、持ち込みを一切許さない。
法哲学	福原明雄	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 持ち込みを一切許さない。
民法Ⅲ(債権総論・担保物権法)	田中教雄	筆記試験	書き込みの有無を問わず、六法の持ち込みを認める。 六法以外の持ち込みについて、特に限定せず、持ち込みを許す。 Moodleを利用して実施するため、PCを持参すること。 試験室外からのオンラインでの受験は認めない。
刑事政策	武内謙治	筆記試験	書き込みのない六法(判例付き不可)の持ち込みを許し、書き込みがある場合は不正行為とする。 六法以外の持ち込みについて、下記のものに限り、持ち込みを許す。 A4の紙1枚裏表のメモ。ただし、自筆に限る。メモは答案用紙とともに回収する。
中国法	西 英昭	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 六法以外の持ち込みについて、下記のものに限り、持ち込みを許す。 配付資料(コピー不可)
政治学史Ⅰ	木村俊道	筆記試験及びレポート	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 持ち込みを一切許さない。 レポートの締切等については授業中に説明する。
刑法Ⅰ(刑法総論)	富川雅満	筆記試験	書き込みの有無を問わず、六法の持ち込みを認める。 下記のものに限り、持ち込みを許す 手書きノート(自筆に限る)
刑事訴訟法	豊崎七絵	筆記試験	書き込みのない六法(判例付き不可)の持ち込みを許し、書き込みがある場合は不正行為とする。 六法以外の持ち込みについて、持ち込みを一切許さない
政治学原論	蓮見二郎	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 持ち込みを一切許さない。
外交史	中島琢磨	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文を試験問題用紙の中で掲げる。 持ち込みを一切許さない。
法と経済学	川崎邦宏	筆記試験	六法の持ち込みを許さず、関係条文も提供しない。 持ち込みを一切許さない。

## 令和6年度前期 レポート評価科目（法学部専攻教育科目）

今学期の授業科目のレポート評価科目は、下記のとおりです。

※筆記・口頭試問等の試験科目は別途掲示

授業科目	担当教員	締め切り日	提出場所	備考（課題等）
法政基礎演習	福原明雄	令和6年7月30日	初回授業で伝えた教員のメールに、PDFまたはWordで提出。	初回、2回目の授業で伝えたように作成すること。質問は福原まで。
法政基礎演習	柳愛林	8月3日、メール及び授業中にて詳しく説明する		
法政基礎演習	李彦虎	7月初旬頃にMoodleでお知らせ予定		
法政基礎演習	寺嶋文哉	授業内で案内する		
刑事訴訟法実務特殊講義Ⅰ	藤村元気	令和6年7月1日	①講義の際に提出、②学務課に提出、③Moodle上にアップロード、④①～③が難しい場合は担当教員g-fujimura@jyounan-law.jp宛に送信)	事例問題 7月8日が最終講義です。
政治学Ⅰ	出水薫	提出期限は未定	Moodle上で回収する。	
比較政治学Ⅱ	出水薫	提出期限は未定	Moodle上で回収する。	
国際政治学Ⅰ	大賀 哲	別途通知		

(学生通知用)

## 法学部学期末試験受験者心得

1. 受験者は、試験開始時刻10分前に試験室に入室すること。
2. 試験室では、原則1人空けで着席すること。ただし、監督者から座席を指定された場合は、その指示に従うこと。
3. 講義室の座席には、座席番号を付しているので、答案用紙に座席番号を記入すること(答案用紙に座席番号の記入がない者の答案は無効とする)。
4. 試験開始10分経過後は入室を許可しない。また、試験開始後30分間及び試験終了時刻直前の10分間は退室を許可しない。
5. 受験者は必ず学生証を持参すること。
6. 受験者は、試験室に入る前に携帯電話・スマートフォン等の電子機器の電源を切り、机の上に置かないこと。計時機能としての使用も禁止する。
7. 試験問題提示後に答案を提出しないで退室することはできない。
8. 所定の座席に着席しない者、その他監督者の指示に従わない者には退出を命じる。
9. 試験に際し、不正行為を行わないこと。不正行為があった場合は、当該学期の全ての受験科目を無効とするとともに、「退学」を含め厳重に処分を行う。

法学部長 徳本 穰

法学部学生 各位

法学部学務委員会

## 学期末試験における追試験について

学生が病気・事故などの正当な理由により、筆記試験を受験できなかった場合に限り、下記により追試験を実施します。

追試験を希望することになった場合は、速やかに学務課（法学担当）に申し出てください。

また、教室での筆記試験の受験を避けるべき個別の事情（基礎疾患を有するなど）がある場合には、事前に学務課（法学担当）に申し出れば、あらかじめ追試験の可否につき学務委員会の判断を受けることができます。

なお、再試験については、従来どおり実施しません。

### 記

#### ○追試験の実施について

1. 学期末試験期間中に実施される筆記試験を受験できなかった学生については、病気、事故、2親等以内の親族の死亡、その他正当な理由があると学務委員会が認めた場合に限り、追試験を行うこととする。
2. 追試験を希望する学生は、受験できなかった科目にかかる**筆記試験の実施日から3日後の17時まで**（3日後が土日の場合は**月曜日の午前9時まで**）にその旨を学務課（法学担当）に申し出ること。  
（メールでの連絡で結構です）

学務課（法学担当）連絡先：jbkkyomu21a@jimu.kyushu-u.ac.jp

事前に受験できない科目が分かっている場合は、事前に申し出ることもできます。

3. 追試験を申し出た学生は、別に指定された期日までに、出願理由を証明する書類等を添えて、追試験に関する所定の手続き（学務課

法学担当で交付)を行うこと。

※病気を理由とする場合には罹患したことが確認できる書類が必要となります。

4. 追試験申請にあたり、学生から授業担当教員への連絡は不要です。

令和6年6月25日